



PRESS RELEASE (2019/08/23)

『2019 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA』 作品募集開始！

『アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA』は九州大学が中心となって、北部九州からデジタルコンテンツの創造を担う高度な技能と豊かな感性を持つクリエイターの発掘・育成の場として2001年にスタートしました。このコンペティションは、高度なメディアテクノロジーを背景に論理的な思考と芸術的感性との融合を標榜し、さらにアジアの文化、風土に深く根差した世界レベルのメディアアート作品の公募展です。

【アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA 公式 Web サイト】 <http://adaa.jp/>

【2019 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA 概要】

主催

2019 デジタルアート大賞展実行委員会

[九州大学／福岡県／福岡市／北九州市／株式会社西日本新聞社／ラブエフエム国際放送株式会社]

募集部門

・一般カテゴリー：優れた技能と高い芸術性を持つプロフェッショナルクリエイターを目指す方々を対象とします。法人、学生の方もご応募いただけます。

【静止画部門/動画部門/インタラクティブアート部門/エンターテインメント（産業応用）部門】

・学生カテゴリー：デジタルアートに興味のある、スキルアップを図る学生のためのエントリーコースです。高校生以下の方の作品も募集します。サークルなどグループによる応募も可能です。

【静止画部門/動画部門/インタラクティブアート部門/エンターテインメント（産業応用）部門】

募集期間

2019年8月19日(月)～10月31日(木) 23:59 (日本時間)

応募方法

上記の公式 Web サイトからエントリーの上、ご応募ください。

各賞

・アジアデジタルアート大賞：福岡県知事賞を授与

・大賞 一般カテゴリー/静止画部門もしくは動画部門：文部科学大臣賞を授与

一般カテゴリー/インタラクティブアート部門：総務大臣賞を授与

一般カテゴリー/エンターテインメント（産業応用）部門：経済産業大臣賞を授与

学生カテゴリー各部門の大賞に次世代育成支援として奨励金授与あり

・その他の賞 優秀賞、入賞、福岡市長賞

スケジュール

8月19日～10月31日 作品募集

12月下旬 受賞作品発表

2020年3月5日～3月10日 受賞作品展開催（福岡アジア美術館・予定）

2020年3月8日 表賞式（福岡アジア美術館・予定）



◆詳細につきましては、別添資料または公式 Web サイトをご覧ください。

【お問い合わせ】

アジアデジタルアート大賞展実行委員会事務局
(九州大学大学院芸術工学研究院内)

TEL : 092-553-9465 MAIL: adaa@design.kyushu-u.ac.jp

ADAA

Asia Digital Art Award FUKUOKA



エントリーはこちら！

<http://adaa.jp>

募集期間 2019 **8.19** MON — **10.31** THU

主催：2019アジアデジタルアート大賞展実行委員会 [九州大学/福岡県/福岡市/北九州市/株式会社 西日本新聞社/ラブエフエム国際放送株式会社]

後援：総務省/文化庁/経済産業省/駐福岡大韓民国総領事館/CG-ARTS(公益財団法人 画像情報教育振興協会)/一般財団法人 デジタルコンテンツ協会/公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会/
一般社団法人 九州経済連合会/NHK福岡放送局/公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団/三菱地所アルティアム/NPO法人 映像産業振興機構/キヤノンマーケティングジャパン株式会社/ワコム/
協力：アジアデジタルアートアンドデザイン学会日本 (予定、申請中も含む)

協賛：公益財団法人 柿原科学技術研究財団/株式会社ゼネラルアサヒ/株式会社レベルファイブ/Cygames佐賀デバッグセンター/株式会社ニューロマジック/SCSK株式会社/株式会社アニマ/
anno lab/チームラボ株式会社/株式会社ミドリ印刷/SBヒューマンキャピタル株式会社



アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA は、高度なメディアテクノロジーを背景に論理的な思考と芸術的感性との融合を標榜し、さらにアジアの文化風土に深く根差した世界レベルのメディアアート作品の公募展です。今年もまた多くのクリエイターの参加をお待ちしております。



募集概要



カテゴリ

一般

優れた技能と高い芸術性を持つプロフェッショナルクリエイターを目指す方々を対象とします。法人、学生の方もご応募頂けます。

学生

デジタルアートに興味のある方、スキルアップを図る学生のためのエントリーコースです。高校生以下の方の作品も募集します。サークルなどのグループによる応募も可能です。

部門

一般、学生共通

静止画部門

コンピュータ・グラフィックス、画像処理等により制作された静止画像作品を募集します。

動画部門

コンピュータ・アニメーション、動画処理、その他のデジタルテクノロジーを用いて制作されたアニメーション等の動画作品を募集します。

インタラクティブアート部門

メディアテクノロジーを応用し、インタラクティブ性を組み入れた作品を対象とします。パフォーマンスアートやインスタレーション作品など「人間とマシン」、「人間と人間」といった相互の関係性に注目した芸術作品を募集します。

エンターテインメント（産業応用）部門

ゲーム、スマートフォンアプリ、CM・プロモーション映像など産業応用を目的として制作及び試作された作品を募集します。

審査員

源田 悦夫（神戸芸術工科大学教授／遼寧何氏医学院アジアデジタル芸術院院長／九州大学名誉教授）

河口 洋一郎（東京大学名誉教授／アーティスト）

鄭 道成（韓国国民大学校テクノデザイン教育院院長）

坂井 滋和（早稲田大学教授）

中島 信也（(株)東北新社取締役／CMディレクター）

中谷 日出（京都大学大学院総合生存学館特任教授）

中尾 智路（福岡アジア美術館学芸員）

第一次審査、本審査を経て各賞を選定します。なお、審査は提出された登録情報、および作品データのみを用いて実施します。

賞

アジアデジタルアート大賞（一般カテゴリから1点） **福岡県知事賞** を授与

大賞（アジアデジタルアート大賞に選ばれた部門を除く一般カテゴリ、学生カテゴリの各部門からそれぞれ1点）

一般カテゴリ：静止画部門、もしくは動画部門 … **文部科学大臣賞** を授与

一般カテゴリ：インタラクティブアート部門 … **総務大臣賞** を授与

一般カテゴリ：エンターテインメント部門 … **経済産業大臣賞** を授与

学生カテゴリ：全部門の大賞に次世代育成支援として公益財団法人 柿原科学技術研究財団から奨励金を授与

優秀賞（一般、学生カテゴリ各部門からそれぞれ2点）

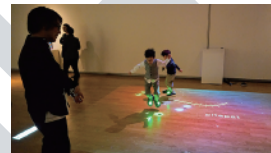
入賞（全部門の中から若干数）

福岡市長賞（全部門の中から1点）

展覧会

福岡アジア美術館 2020.3.5（木）～3.10（火）[予定]

受賞作品は「2019 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA 受賞作品展」にて展示します。表彰式は2020.3.8（日）に行います。アジアの交流拠点でもある福岡から様々な人へ作品を発信してください。



ADAA2018 展覧会、表彰式、懇親会の様子

<http://adaa.jp>
お問い合わせ

